

1) 今日のテーマ「授業中の給水」

おはようございます。今年も記録的な暑さでしたが、皆さん元気だったでしょうか？夏休み中も Classi で熱中症特別警戒アラートのことや台風、大雨警報の対応などについて連絡をしました。私は皆さんが適切な判断と行動がとれたと思っています。

さて、1学期の終業式で、授業中の給水についてお話ししました。今日はその後の話と、生徒の意見表明についてお話しします。

2) 生徒意見の紹介

1学期の終業式の後、3年生の生徒2人が、授業中の給水について、意見を伝えに来てくれました。要点をまとめると、

- ・終業式で、生徒の意見を聞きたいと、校長先生は言っていたが、学校が決めてから生徒の意見を聞くのではなく、決める前に意見を聞くべきではないか。
- ・授業中に「水分補給していいですか？」と許可を求めて手を挙げるのは、授業を止めてしまうことになるので、手を上げにくい。むしろマナーに反する。授業の妨げにならないよう、そっと飲みたい。
- ・飲み物をこぼさないように、ということであれば、ふたをした容器で、飲んだらすぐカバンの中にしまえばよい。

ということでした。どれも、私はなるほど、と思い、夏休み中にこのことについて考えを進めました。

3) 検討経過の概要

現在、まだまだ検討中ですが、先日、いつも健康診断で来てくださる学校医の先生に、御意見を伺いました。また、私たち教職員にも、生徒に対する学校医と同じような関係で、産業医というお医者さんがいます。その産業医の先生にも御意見を伺い、医学的な見地からもアドバイスをいただきました。いろいろと勉強になりました。

まだ暑い日が続きますので、ルールを変更する場合でも、変更しない場合でも、なるべく早くお知らせできるようにします。また、ルールを変更する場合は追って Classi 等でお知らせしますので、待っていてください。

4) 生徒の意見表明

「授業中の給水」について、意見を寄せてくれた2人の生徒には、あらためて感謝しています。意見を伝えてくれたこと、うれしく思いました。しかし、皆さんに誤解してほしくないのは「校長先生に言えば簡単に学校のルールは変わるんだ」というわけではありません。私は、生徒の意見「だけ」でルール変えることはしません。そうしてしまうと、「言った者勝ち」になってしまいます。意見を言う勇気のあることはいいことですが、そういう人の意見だけを生かすのではなく、意見を言わない大多数、サイレントマジョリティーとも言いますが、そういった人たちのことも考えていきます。

いずれにしても、生徒の意見をきっかけにして学校のルールを見直すことはあり得ます。皆さんにも、意見表明権、意見を言う権利、伝える権利はあります。最近「子供の意見表明権」という言葉を聞いたことはないでしょうか？高校生が、地方自治体の政策、さまざまなプロジェクトに意見を求められたり、そのためのイベントがあったりしています。社会でも、高校生など当事者の多くの意見を参考にしてより良いものにしていくという流れになってきています。学校内のルールについてだけでなく、地域のさまざまな課題解決、社会課題の解決に、皆さんも関心をもってほしいと思います。

5) 生徒会への期待

話が少し大きくなってしまいましたので、学校生活に話を戻します。皆さんの意見で学校生活をより良いものにするために、私は、生徒会活動に期待しています。先日の、1学期終業式の後で、生徒会役員の補欠選挙がありました。これで新生徒会がスタートすることになりました。ぜひ役員の皆さんには、生徒の意見を取りまとめ、先生たちに伝えるような仕組みを作り、運営してもらいたいです。また、学校生活をより良いものにしていくための課題、問題点を考え、それを全校に発信してほしいと考えています。

役員以外の皆さんは、役員任せにしてあとは無関心という態度をとるのではなく、役員を支えてください。リーダーシップに対して「フォロワーシップ」という言葉があります。生徒会役員のリーダーシップを支えるフォロワーシップをもって、皆さんが適切な行動をとることを期待しています。

最後に、あと2週間で大きなイベントである文化祭が始まります。一人ひとりが、意見・アイデアを出しながら、生徒会役員、文化祭実行委員の皆さんのリーダーシップを支えながら、今年も秋桜祭を成功させましょう。もちろん、準備の時も本番も、適切に水分補給を行って、熱中症対策に努めましょう。

以上で私の話を終わります。